

重点施策	評価指標	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成35年度)
親子で遊んで I♥GEO (糸魚川 元気 親子)	子どもとふれあう努力をしている親 ※「している」と答えた割合 	0～3歳 85.3%	90.0%
		4～6歳 79.8%	
		小学生(低学年) 70.3%	
	電子メディアとの接触時間 ※2時間/ (日) 未満の子 	0～3歳 53.7%	60.0%
		4～6歳 45.4%	
		小学生(低学年) 52.9%	
基本だね、 おいしい朝ごはん お早い起床	6時30分までに起床する子	0～3歳 41.3%	80.0%
		4～6歳 39.6%	
	3食毎日食べる子・親 	小学生(低学年) 66.9%	100.0%
		4～6歳 92.6%	
		小学生(低学年) 95.6%	
		小学生(高学年) 94.7%	
大満足の環境づくり 出産・育児	市内病院出産率	54.2%	70.0%
	母乳育児率 	2か月児未満 62.1%	65.0%以上
		4か月児未満 66.9%	70.0%以上
	健康診査満足度 ※「満足している」「やや満足している」と答えた割合	89.2%	95.0%
	発達障がいという言葉の意味を知っている親 ※「知っていて意味も理解している」と答えた割合	0～3歳 48.6%	80.0%
		4～6歳 58.6%	
小学生(低学年) 55.3%			
小学生(高学年) 57.1%			
中学生 52.7%			
糸魚川の子ども みんなで育てよう	子育てのストレスを解消できている親 	0～3歳 母親 71.2%	80.0%
		父親 48.0%	60.0%
		小学生(低学年) 母親 70.6%	80.0%
		父親 46.1%	60.0%
		小学生(高学年) 母親 72.2%	80.0%
		父親 45.6%	60.0%
1日1回は自分の子をほめる親 ※「ほめる」「少しほめる」と答えた割合	4～6歳の親 97.9%	100.0%	

本計画についてのお問合せは
★糸魚川市教育委員会事務局こども課 親子健康係
電話025-552-1511 (代表)
E-mail: kodomo@city.itoigawa.niigata.jp

さらに詳しく知りたい方は
★糸魚川市ホームページからダウンロード
<http://www.city.itoigawa.lg.jp>



第3次 糸魚川市親子保健計画

平成28年～平成35年度
ダイジェスト版

第3次糸魚川市親子保健計画とは

妊娠・出産・育児を安心して行い、子ども達をより健やかにはぐくむための親子の健康づくりに関する計画です。「0歳～18歳までの子ども一貫教育方針」の3つの柱のうち「健やかな体の育成」「豊かな心の育成」の具体的な目標と取組みを示しています。「ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ」ことを目指し、地域全体で親子の健康づくりを推進します。

グランドデザイン



※「I♥GEO(糸魚川 元気 親子)」には、世界ジオパークに認定された糸魚川市の自然を生かした遊びを通し、「ひとみかがやく日本一の子ども」をはぐくみたいという願いが込められています。

親子で遊んで ひとみかがやく日本一の子どもをはぐくむ

※主なものを掲載しています

アイ ラブ ジョ
I ♥ GEO

現状と課題

主な取組みの内容

重点施策 1

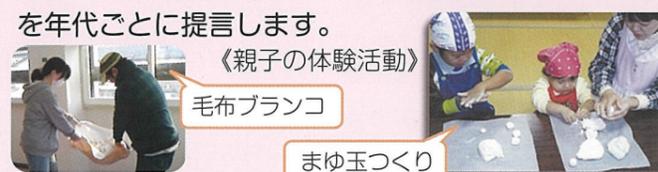
親子で遊んで I ♥ GEO
(糸魚川 元気親子)

- ❖ ふれあいと遊びの推進
- ❖ 電子メディアの健康への危険性と正しい関わり方



- ❖ 子どもとふれあう努力をしている親が全年代で増加。しかし、中にはふれあい方が分からず戸惑う保護者もいます。
- ❖ 電子メディアとの長時間接触で生活習慣が乱れる、心の発達が未熟になり友人とトラブルになるなど、健康面への影響が出ています。

- ❖ じゃれつき遊びや絵本を一緒に見る、ジオパークでの体験などで親子のふれあいを進め、コミュニケーション能力を高めます。
- ❖ 「9歳まではゲーム機、スマートフォンは持たせない」を合言葉に、電子メディアの健康への危険性を周知し、集団遊びや楽しい体験などを推進します。
- ❖ 「これなら守れる電子メディア糸魚川ルール」を年代ごとに提言します。



《じゃれつき遊び》

重点施策 2

基本だね、
早寝早起き
おいしい朝ごはん



- ❖ 生活リズムの向上
「早寝早起きおいしい朝ごはん」の推進
- ❖ 食育の推進

- ❖ 早寝をする子どもの割合は増加しています。
- ❖ 6時30分までの起床の割合が全年齢で減少しました。⇒幼児期は、保護者の生活リズム等が大きく関係します。幼児期以降は、習い事や電子メディアの利用時間なども影響しています。
- ❖ 「3食毎日食べる」割合は改善傾向ですが、保護者の「3食毎日食べる」割合が低くなっています。
- ❖ 中高生で砂糖入り飲料の飲用頻度が高くなっています。

- ❖ 9歳までに生活リズムの土台づくりができるよう支援します。
- ❖ 家族ぐるみで生活リズム向上の取組みができるよう支援します。
- ❖ 年代に応じた食育を推進します。



《各種健康教室》



《ジュニア・キッチン》



重点施策 3

出産・育児 大満足の環境づくり

- ❖ 妊産婦の支援
- ❖ 親子健康訪問
- ❖ 発達支援
- ❖ 予防接種の推進
- ❖ 母乳育児の推進
- ❖ 乳幼児健康診査
- ❖ 歯科保健の推進

- ❖ 核家族化、子育て世代の不安や負担が増加しています。⇒満足度の高い魅力あるサービス提供、関係機関と連携した医療環境の整備が課題です。
- ❖ 母乳育児率が県平均より高い状況です。
- ❖ 「発達障がい」に対する理解が深まりました。
- ❖ むし歯のない子の割合は増加しています。

- ❖ 安心して出産できるよう関係機関と連携した医療環境の整備を行います。
- ❖ 妊産婦相談や子育て相談の充実に努めます。
- ❖ 母乳育児に関する正しい情報の提供に努めます。
- ❖ 乳幼児健康診査で保護者の育児不安の軽減を図り、継続的な支援が必要な親子にきめ細かい支援を行います。
- ❖ 発達障がいに関する情報の提供、支援体制の整備などに努めます。



《パパマママタニティスクール》



《おっぱい相談》



《むし歯予防教室》

重点施策を支える土台

みんなで育てよう糸魚川の子ども

- ❖ 愛着形成の推進
- ❖ 温かい心によるしつけの推進

- ❖ 子どもに関心を持って子育てしている割合は増加している一方で、子どもとの接し方で不安や悩みを抱える割合も増加しています。⇒親子の愛着の土台づくりが課題です。
- ❖ 豊かな人間関係を築く取組みや正しい性知識の啓発が必要です。
- ❖ 自分や他人の子をほめる親の割合は増加しています。
- ❖ 挨拶ができる割合は、小学生で半数程度です。

- ❖ 愛着形成や親子の絆を実感できる具体的な方法の啓発に努めます。
- ❖ 命を大切に、性の問題に対して適切な意思決定ができる子どもの育成を図ります。
- ❖ ほめることの大切さを啓発し、親子の自己肯定感の育成に努めます。
- ❖ 地域全体で子どもの社会性・道徳性の基礎づくりに努めます。



《赤ちゃんふれあいスクール》



《中学生への性教育》



《すくすく赤ちゃん広場》